

## 企業経営実態調査結果

飯田市産業経済部工業課

## 1 調査概要

- (1) 調査期間 平成29年11月1日(水)～平成29年11月30日(木)
- (2) 調査の目的 企業経営状況、雇用形態等を調査し、今後の施策に反映するため。
- (3) 調査対象 製造業を中心に抽出した事業所34社に対して、担当職員が質問票及び企業訪問等によるヒアリングを実施。

－業種別－		－従業員数別－	
機械系 (精密・機器・電子・光学)	22 (64.7%)	10人以下	1 (3.0%)
		11人～30人	5 (14.7%)
食品系	8 (23.5%)	31～50人	4 (11.8%)
その他	4 (11.8%)	51人～100人	12 (35.3%)
計	34	101人～300人	6 (17.7%)
※端数処理により、合計数字は 100.0%とならない。		301人以上	6 (17.7%)
		計	34

- (4) 調査事項 I 売上(受注)高の状況 II 雇用について  
III 工場増設等について IV その他
- (5) 回答結果 調査項目別結果のとおり

## 2 調査項目別結果

### I 売上（受注）高の動向

(1) 最近（10月）の月間売上（受注）高は、昨年の同期（10月）の月間売上（受注）高と比べて、どのくらいとなっていますか。

売上（受注）高の状況は、対前年比で「増加」が22事業所（66.7%）、「増加・減少なし」が1事業所（3.0%）、「減少」が10事業所（30.3%）である。売上が大幅に増加した企業は、今年度より始まった新事業が好調とのことである。

※数値は事業所数、（ ）内の数値は構成比

増加・減少割合	工業系	食品系	その他	計
～10割以上増加	1			22 (66.7%)
～ 9割 増加				
～ 8割 増加				
～ 7割 増加				
～ 6割 増加				
～ 5割 増加				
～ 4割 増加	1			
～ 3割 増加	5			
～ 2割 増加	2	1	2	
～ 1割 増加	6	4		
増加・減少なし	1			1 ( 3.0%)
～ 1割 減少	1	2	2	10 (30.3%)
～ 2割 減少	3	1		
～ 3割 減少	1			
～ 4割 減少				
～ 5割 減少				

(2) 今後(12月)の月間売上(受注)高は、昨年の同期(12月)と比べて、どのくらいになると予想されますか。

12月の売上(受注)高の予想は、対前年比で「増加」が18事業所(56.3%)、「増加・減少なし」が2事業所(6.3%)、「減少」が12事業所(37.5%)となっている。工業系をはじめ、売上の増加が見込まれる企業が多い。【有効回答数32社】

※数値は事業所数、( )内の数値は構成比

※端数処理により、合計数値は100.0%とならない。

増加・減少割合	工業系	食品系	その他	計
～10割以上増加	2			18(56.3%)
～ 9割 増加				
～ 8割 増加				
～ 7割 増加				
～ 6割 増加				
～ 5割 増加	1			
～ 4割 増加	1			
～ 3割 増加	1		1	
～ 2割 増加	3	2		
～ 1割 増加	4	2	1	
増加・減少なし	1		1	2 (6.3%)
～ 1割 減少	4	3	1	12 (37.5%)
～ 2割 減少	2	1		
～ 3割 減少				
～ 4割 減少	1			
～ 5割 減少				
～ 6割 減少				

(3) 今年（平成 29 年 1 月～平成 29 年 12 月）の年間売上高は、昨年と比べてどのくらいになると予想されますか。

年間売上高の予想は、対前年比で「増加」が 18 事業所（56.3%）、「増加・減少なし」が 4 事業所（12.5%）、「減少」が 10 事業所（31.3%）となっている。【有効回答数 32 社】

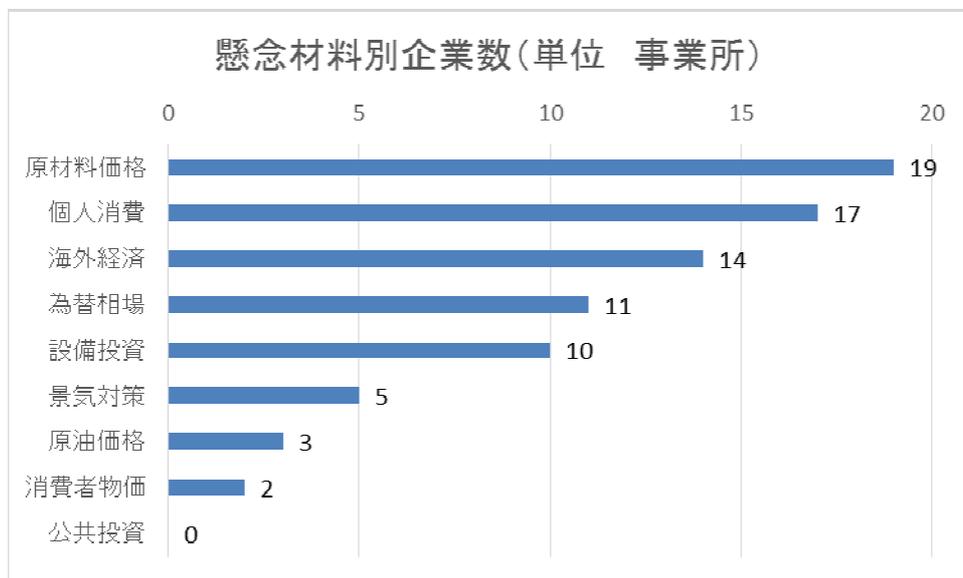
※数値は事業所数、（ ）内の数値は構成比

※端数処理により、合計数字は 100.0%とまらない。

増加・減少割合	工業系	食品系	その他	計
～10 割以上増加	1			18 (56.3%)
～ 9 割 増加				
～ 8 割 増加				
～ 7 割 増加				
～ 6 割 増加				
～ 5 割 増加				
～ 4 割 増加	1			
～ 3 割 増加	3			
～ 2 割 増加	2	1		
～ 1 割 増加	6	1	3	
増加・減少なし	2	2		4 (12.5%)
～ 1 割 減少	4	4		10 (31.3%)
～ 2 割 減少	2			
～ 3 割 減少				
～ 4 割 減少				
～ 5 割 減少				
～ 6 割 減少				

(4) 2～3か月先の業績における動向の懸念材料について、最もあてはまるものについて3つまでお答えください。

回答は、「原材料価格」が最も多い。続いて「個人消費」や「海外経済」などを気にする声も多く聞かれた。一方で、「公共投資」と回答した企業はなかった。【有効回答数 33社】

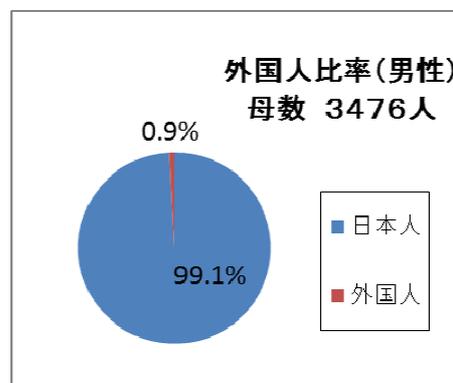
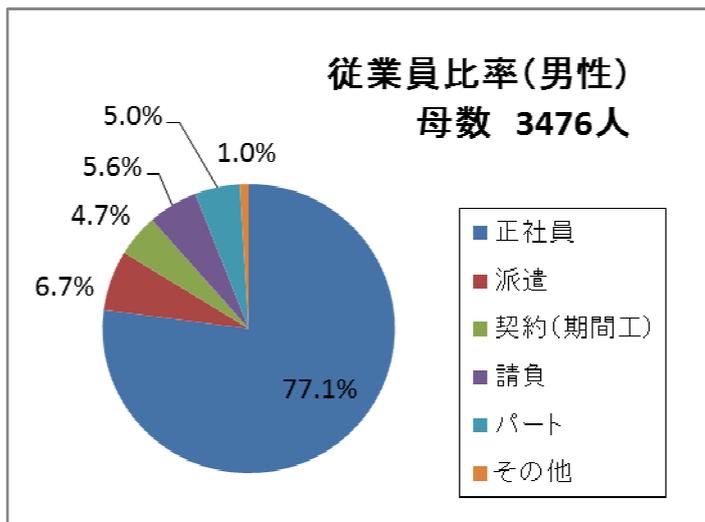


## II 雇用について

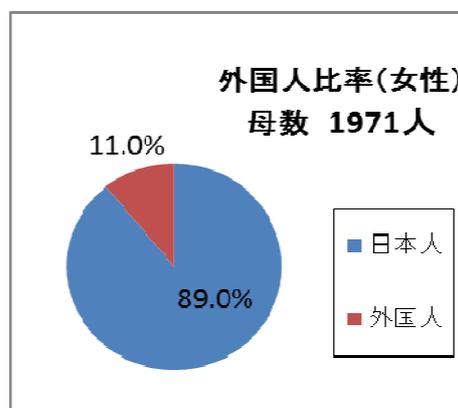
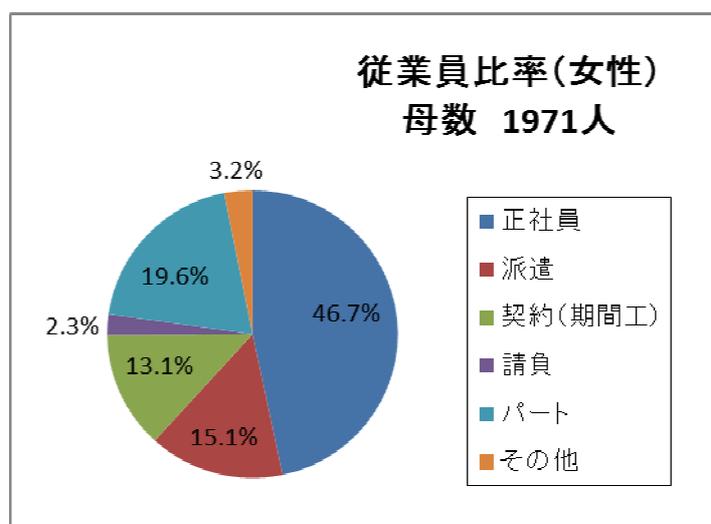
(1) 最近の人員の状況についてお答え下さい。(平成 29 年 11 月 1 日 現在)

従業員の構成比率について、男性では、「正社員」が最も多く 77.1% (2,679 人)、続いて「派遣」6.7% (233 人)、「請負」5.6% (193 人)、「パート」5.0% (173 名)、「契約(期間工)」4.7% (164 人)、「その他」は 1.0% (34 人) である。また、外国人比率は 0.9% (31 人) となっている。【有効回答数 34 社】

※端数処理により、合計数字は 100.0% とならない。

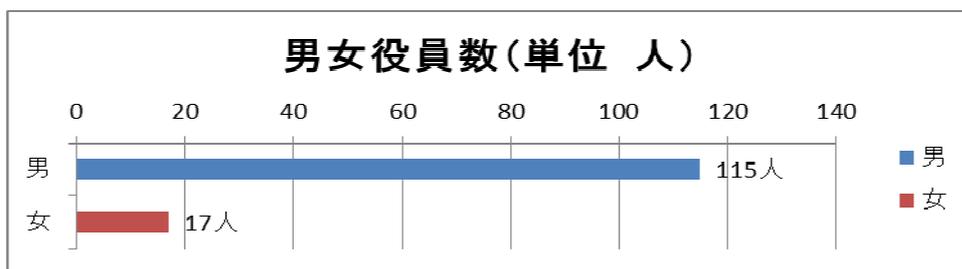


従業員の構成比率について、女性では、「正社員」が最も多く 46.7% (920 人)、続いて「パート」19.6% (387 人)、「派遣」15.1% (297 人)、「契約(期間工)」13.1% (259 人)、「請負」2.3% (46 人)、「その他」3.2% (62 人) である。また、外国人比率は 11.0% (216 人) である。【有効回答数 34 社】



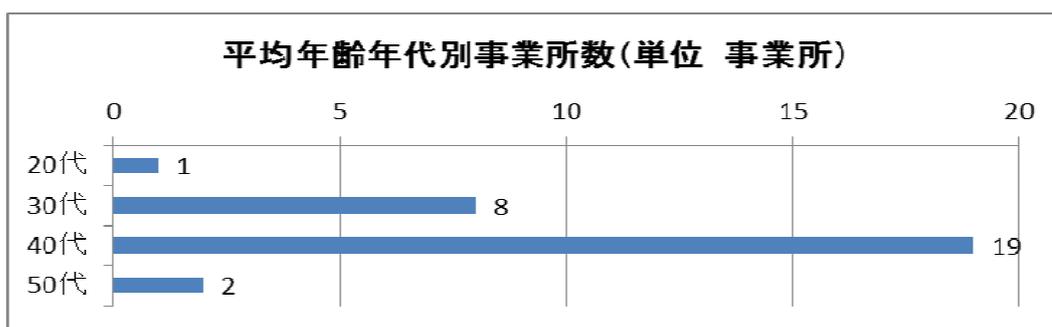
(2) 男女役員数についてお答え下さい。

男女役員数について、全体 132 人のうち、男性が 115 人 (87.1%)、女性が 17 人 (12.9%) となっている。【有効回答数 31 社】

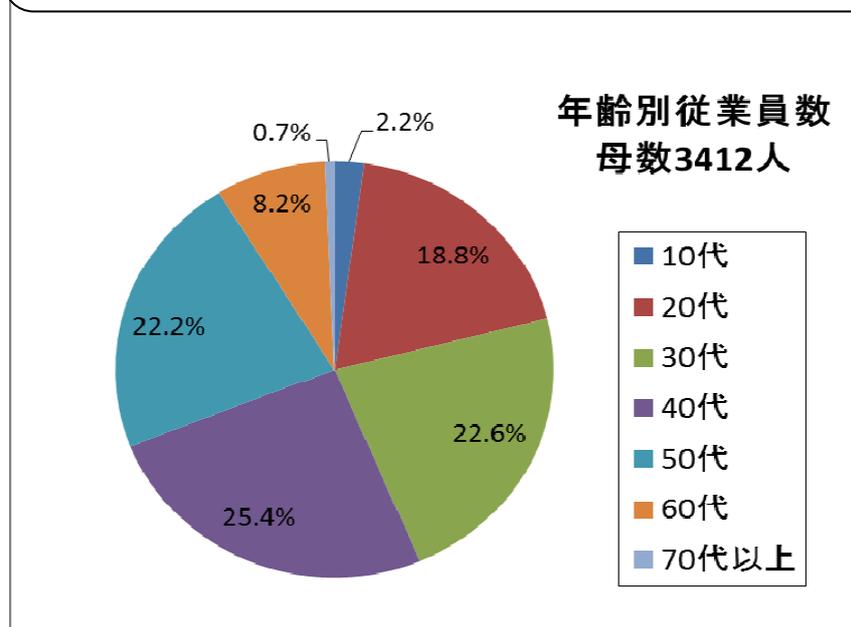


(3) 最近の人員の年齢層についてお答え下さい。(平成 29 年 11 月 1 日 現在)

平均年齢別の事業所数では、「20 代」が 1 事業所 (3.3%)、「30 代」が 8 事業所 (26.7%)、「40 代」が 19 事業所 (63.3%)、「50 代」が 2 事業所 (6.7%) であった。【有効回答数 30 社】



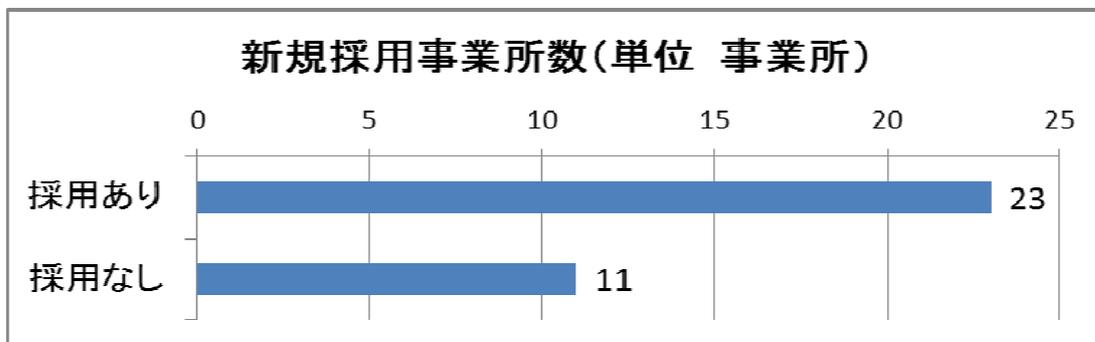
年齢別の従業員数では、「10 代」が 2.2% (75 人)、「20 代」が 18.9% (643 人)、「30 代」が 22.6% (771 人)、「40 代」が最も多く 25.4% (865 人)、「50 代」が 22.2% (757 人)、「60 代」が 8.1% (278 人)、「70 代以上」が 0.7% (23 人) であった。【有効回答数 29 社】



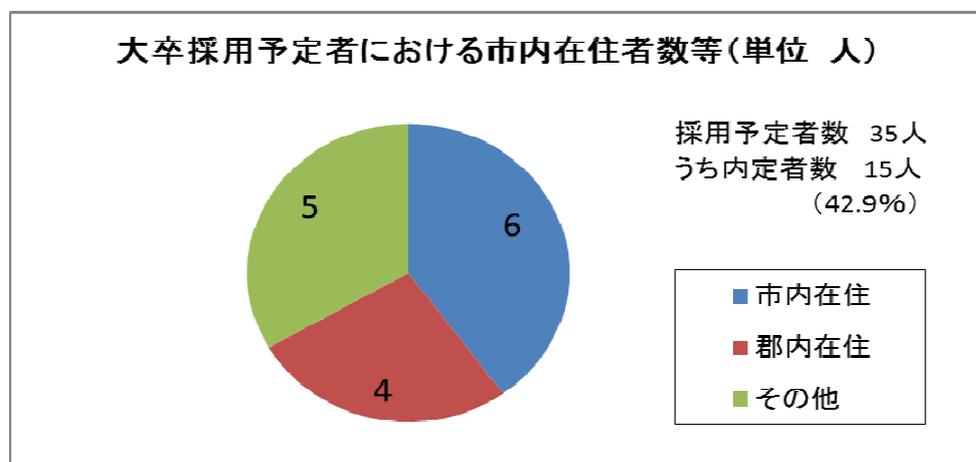
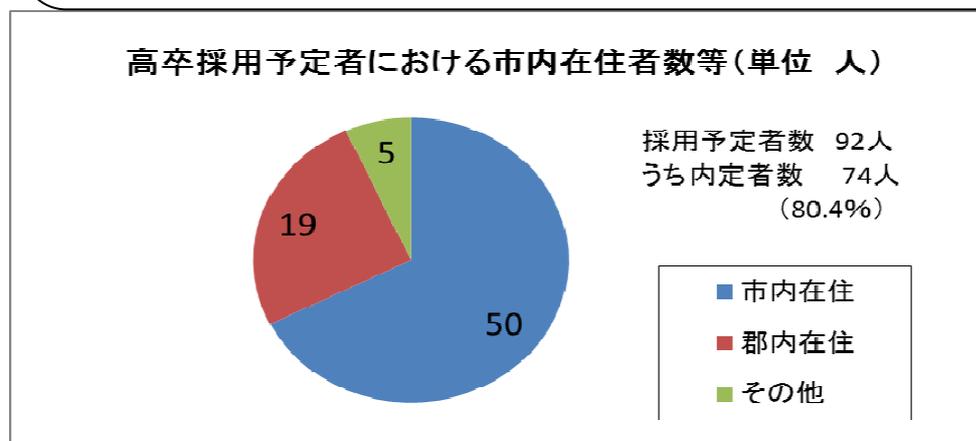
(4) 採用予定について

平成 30 年 4 月の採用予定者数は、何人ですか。(採用内定者の状況もお答えください)

「採用あり」と回答した事業所は、23 事業所 (67.6%)、「採用なし」と回答した事業所は、11 事業所 (32.4%) であった。【有効回答数 34 社】



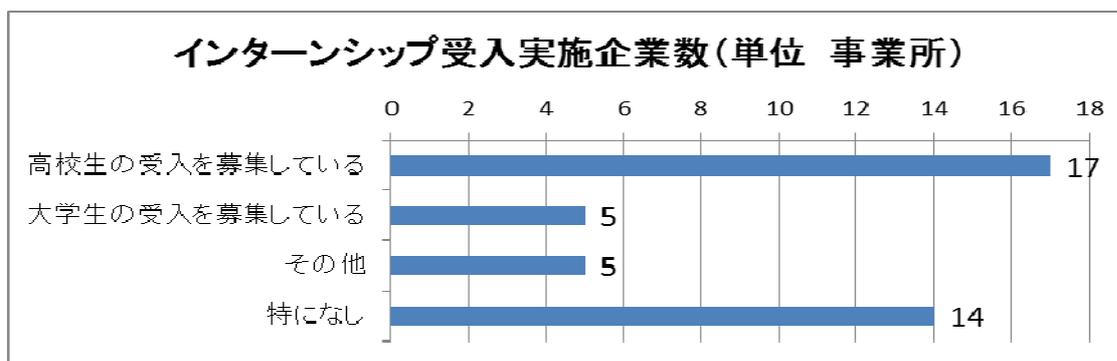
高卒採用予定者数は 92 人であり、現在、そのうち 80.4%にあたる 74 人が内定者となっている。内定者のうち「市内在住者」は 50 人 (67.6%)、「郡内在住者」は 19 人 (25.7%)、「その他」は 5 人 (6.8%) であった。一方、大卒等採用予定者は 35 人であり、現在、そのうち 42.9%にあたる 15 人が内定者となっている。内定者のうち「市内出身者」は 6 人 (40.0%)、「郡内在住者」は 4 人 (26.7%)、「その他」は 5 人 (33.3%) であった。【有効回答数 23 社】



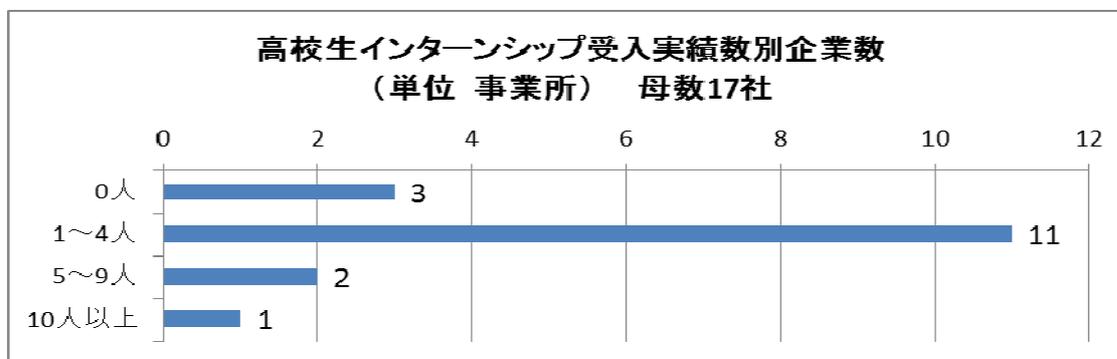
(5) 学生へのインターンシップについて

①現在、インターンシップの募集を行っていますか。該当項目を教えてください。(複数回答可)

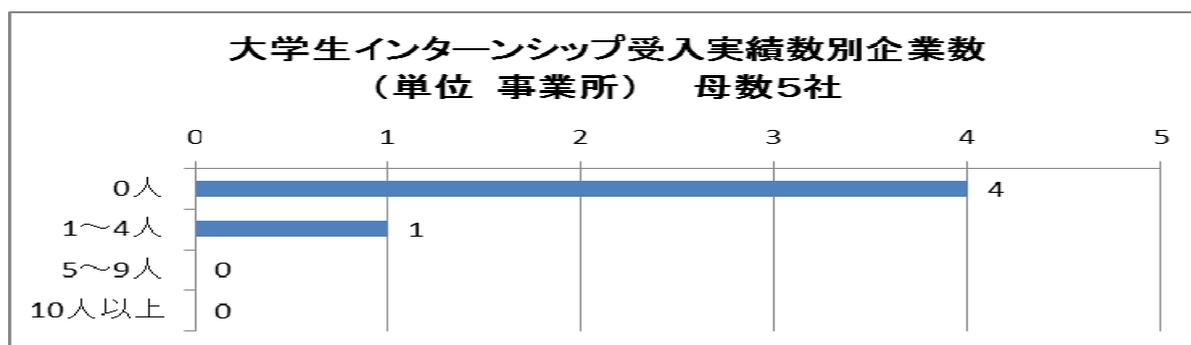
「高校生の受け入れを募集している」事業所は 17 事業所 (50.0%) であり、「大学生の受け入れを募集している」事業所は 5 事業所 (14.7%)、「その他」は 5 事業所 (14.7%)、「特になし」と回答した事業所は、14 事業所 (41.2%) であった。【有効回答数 34 社】



高校生のインターンシップ受入を募集している企業は 17 事業所であったが、実績としては、「1~4 人」を受け入れた事業所が 11 事業所 (64.7%)、「5~9 人」受け入れた事業所が 2 事業所 (11.8%)、「10 人以上」を受け入れた事業所が 1 事業所 (5.9%)、「0 人」であった事業所が 3 事業所 (17.6%) であった。【有効回答数 17 社】



大学生のインターンシップ受入を募集している企業は 5 事業所であったが、「1~4 人」を受け入れた事業所が 1 事業所 (20.0%)、「0 人」である事業所が 4 事業所 (80.0%)、「5~9 人」、「10 人以上」を受け入れた事業所はなかった。【有効回答数 5 社】



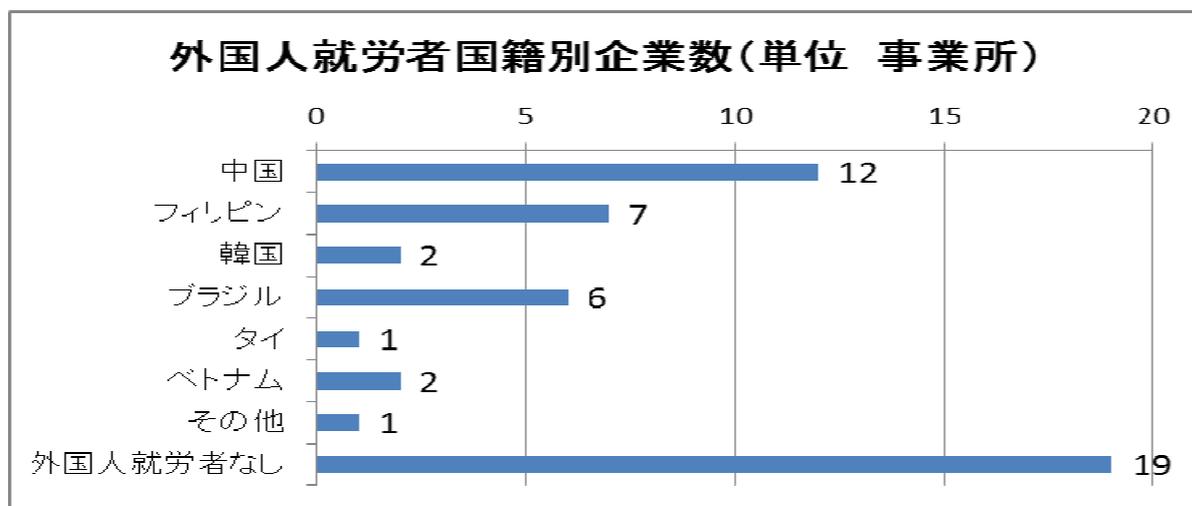
(6) 外国人就労者について

①外国人就労者の国籍はどこですか。(複数回答可)

②外国人就労者の職種はどのようなものですか。

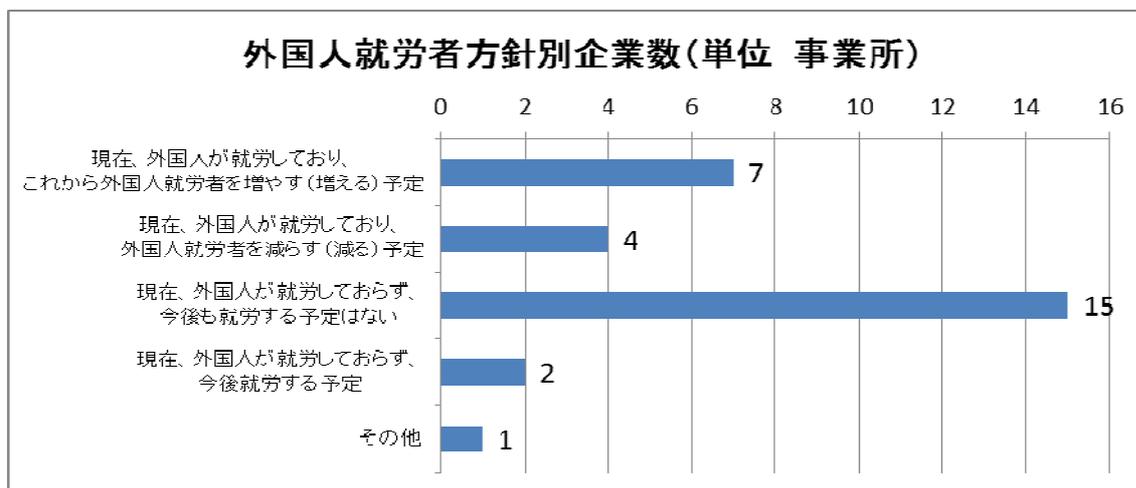
「中国」が最も多く 12 事業所 (35.3%)、続いて「フィリピン」が 7 事業所 (20.6%)、「ブラジル」が 6 事業所 (17.6%)、「ベトナム」「韓国」が各 2 事業所 (各 5.9%)、「タイ」「その他」が各 1 事業所 (各 2.9%) であり、「外国人就労者はいない」事業所は、19 事業所 (55.9%) であった。

また、外国人就労者の職種としては、製造部署での加工担当、組立・検査員の他、営業・資材調達を担当する従業員もいる。【有効回答数 34 社】



③外国人雇用に対する今後の予定を教えてください。

現在外国人が就労している事業所では、「増やす予定」が 7 事業所 (24.1%)、「減らす予定」が 4 事業所 (13.8%) であった。現在外国人が就労していない事業所では、「今後就労する予定」が 2 事業所 (6.9%)、「今後も就労しない予定」が 15 事業所 (51.7%)、また、その他が 1 事業所 (3.5%) であった。【有効回答数 29 社】

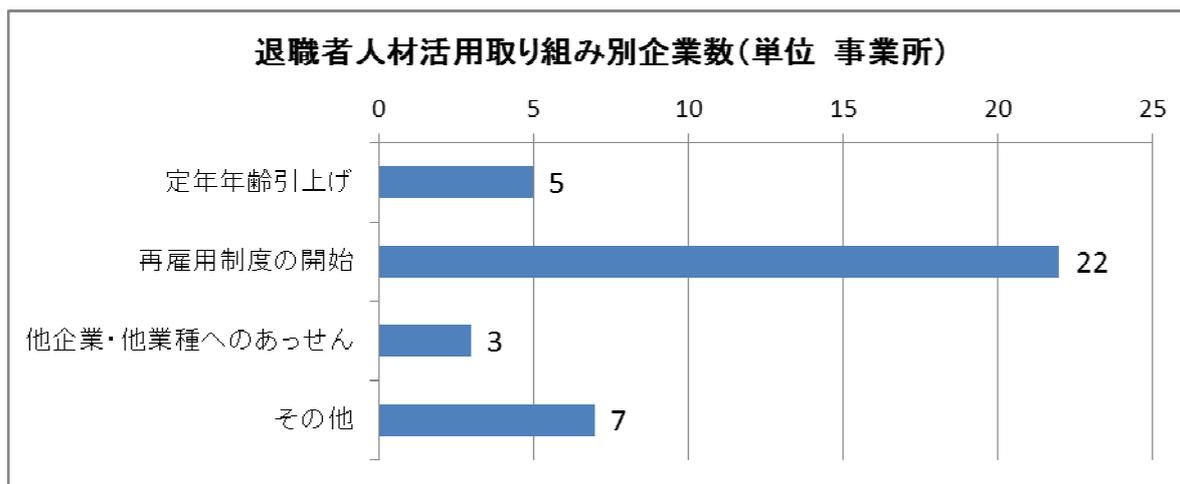


### (7) 退職者雇用について

過去5年以内で、退職者の人材活用に関する取り組みがあれば、教えてください。(複数回答可)

「再雇用制度の開始」が最も多く 22 事業所 (66.7%)、「定年年齢の引き上げ」が 5 事業所 (15.2%)、「他企業・他業種への斡旋」が 3 事業所 (9.1%) であり、「その他」が 7 事業所 (21.2%) であった。【有効回答数 33 社】

※端数処理により、合計数字は 100.0% とならない。

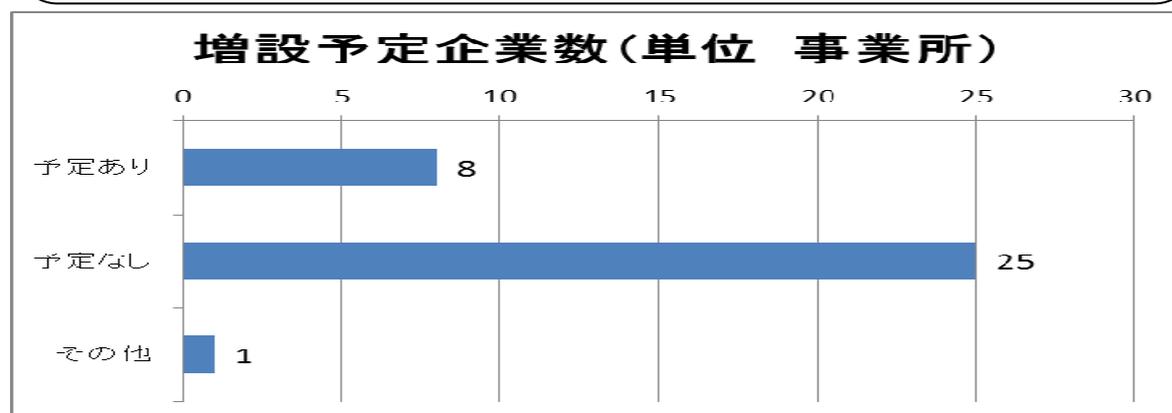


### Ⅲ 工場増設等について

今後、工場増設の予定について

工場増設の「予定あり」の企業は 8 事業所 (23.5%) であり、「予定なし」の企業は 25 事業所 (73.5%) であり、「その他」の企業は 1 事業所 (2.9%) であった。

増設予定の内容としては、工場新設、設備導入に伴う増設などである。【有効回答数 34 社】



#### IV その他

市への要望等がありましたら、お聞かせください。(自由記述)

〈地域づくりについて〉

- 新しい工場や企業が飯田下伊那地域へ来るように誘致活動をお願いしたい。(子どもが戻ってこられるような企業誘致をしてほしい)
- リニア新幹線開通などを見据え、魅力のある地域づくりをしてほしい。飯田下伊那地域へ来てもらえるような施設を充実してほしい。工業界への利益にもつながる。
- リニア駅の周辺整備(公園等)をする際、地域企業として協力できることがあれば手伝いたい。

〈産業振興について〉

- 増設などへの協力・支援をお願いしたい。
- 親会社が大企業であっても活用可能な補助金事業をお願いしたい。
- 自動化・ロボット化への推進に取り組んでほしい。
- 産業振興と人材育成の拠点を活用し、職業高校のスキルアップを図り、若者の流出を防げないか。
- 様々な産業が連携した取り組みをしてほしい。

〈人材関係〉

- 飯田市に若い人が増えることを期待する。大学等への就学者が、Uターンをしてもらえる市としての施策をお願いしたい。
- 他の地方にある大学への就活ガイダンス参加をしてほしい。単独で参加しても、相手にしてもらいにくい。
- 高校卒業人材の確保に苦慮している。高卒人材の情報を提供してほしい。
- 働き手不足。潜在労働者の発掘に向けた取り組みがあれば教えてほしい。
- 派遣人材の動向がわかれば教えてほしい。

〈その他〉

- 工業団地等への通勤バスなどを考えてほしい。
- 工場付近の道路等インフラを整備してほしい。(法面の崩れ、拡幅、舗装、看板設置等)
- 工場の増設に伴い、現在の場所が手狭になってきている。新たな産業団地整備やその他法令整備をお願いしたい。
- インターンシップや、補助金等の情報がほしい。
- 地域で、共通部品等の共同購入はできないか。

## 事業承継調査結果

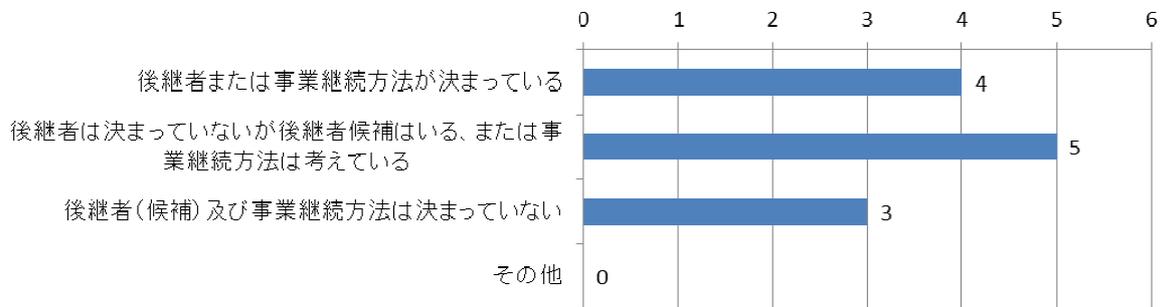
## 事業承継について

## (1) 事業承継の予定について

## ① 事業承継の予定について教えてください。

事業承継の予定については、「後継者または事業継続方法が決まっている」が4事業所(33.3%)、「後継者は決まっていないが後継者候補はいる、または事業継続方法は考えている」が5事業所(41.7%)、「後継者(候補)及び事業継続方法は決まっていない」が3事業所(25.0%)、「その他」は0事業所であった。【有効回答12社】

## 事業承継予定別企業数(単位 事業所)



## ② ①で「1. 後継者または事業継続方法が決まっている」、「2. 後継者は決まっていないが、後継者候補はいる、または事業継続方法は考えている」と答えた方にお聞きします。

後継者(候補)は、どのような方(方法)ですか。(複数回答)

後継者候補及び方法については、「親族」が6事業所、「役員・従業員(親族以外)」が5事業所、「社外からの雇用」が1事業所、「M&A」は0事業所であった。【有効回答9社】

## 後継者候補・方法別企業数(単位 事業所)



③ 後継者選定に関する課題・悩みを教えてください。(複数回答)

後継者選定の悩み・課題については「後継者が若年」が2事業所、「後継者の能力不足」が3事業所、「後継者が自分と年齢が近くその後が不安」が1事業所、「後継者を見つけることが困難」は2事業所で、「後継者選定に関する相談先がない」0事業所であった。

【有効回答8社】

### 後継者選定課題別事業所数(単位 事業所)

